

## 下水道BCP策定マニュアル改訂に関する検討

調査研究年度：2017年度

地震・津波対策

政策支援調査研究

### 【調査・研究目的と成果】

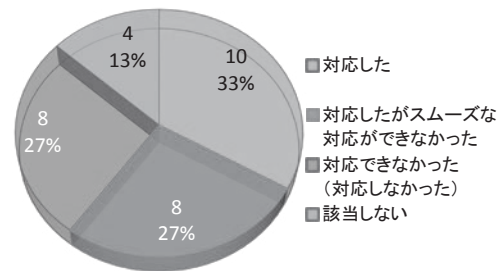
下水道BCP策定マニュアルは、東日本大震災の経験と教訓を踏まえて、平成24年3月、「下水道BCP策定マニュアル-第2版-(地震・津波編)」に改訂された。東日本大震災と同様に平成28年に発生した熊本地震においても、下水道の災害対応に関して様々な経験と教訓が得られ、そのような中で、本研究では、熊本地震における下水道BCPの課題、地域防災計画等との関係及び対象範囲、訓練等による下水道BCPのブラッシュアップの方法について整理・検討し、それらの検討結果を踏まえて、下水道BCP策定マニュアルの改訂案を作成した。

### 【検討結果の概要】

#### ○熊本地震における下水道BCPの課題

熊本県内の地方公共団体を対象にアンケートとヒアリング調査等を行い、熊本地震における下水道BCPの課題等を整理した。下水道BCPに基づいて計画通りに対応できた地方公共団体は約30%のみであり、半数以上の地方公共団体ではスムーズに対応できなかった(図-1)。計画通りに対応できなかった理由を以下に示す。

- ・上位計画により職員が避難所等に配備された。
- ・下水道以外(水道等)の業務の優先順位が高かった。
- ・下水道における人員が少ない。
- ・緊急対応への応援に関する協定の締結を急ぐことが重要である。
- ・支援要請の仕組みや、それにかかる費用負担がよくわからなかった。
- ・支援要請に不可欠な受入側での宿泊場所の確保、斡旋に苦慮した。
- ・資機材の確保のため、事前に協定を締結しておくべきである。



上段：自治体数  
下段：パーセント  
有効回答数：30  
(無効・未回答を除く)

図-1 アンケート結果

#### ○下水道BCP策定マニュアルの改訂

下水道BCP策定マニュアルの改訂の方向性を図-2に示す。熊本地震における下水道BCPの課題等を踏まえて、改訂の方向性を整理した。課題としては、「体制の不備」、「受援体制の確立」、「その他の課題」に区分される。それらの課題に対して対応する形で、下水道BCP策定マニュアルの内容を充実させた。また、下水道BCPは訓練等を通じて、継続的にブラッシュアップすることが重要であるため、下水道BCPの課題を把握し、ブラッシュアップする具体的な手法として、訓練実施の考え方と訓練事例を整理して改訂案に記載した。

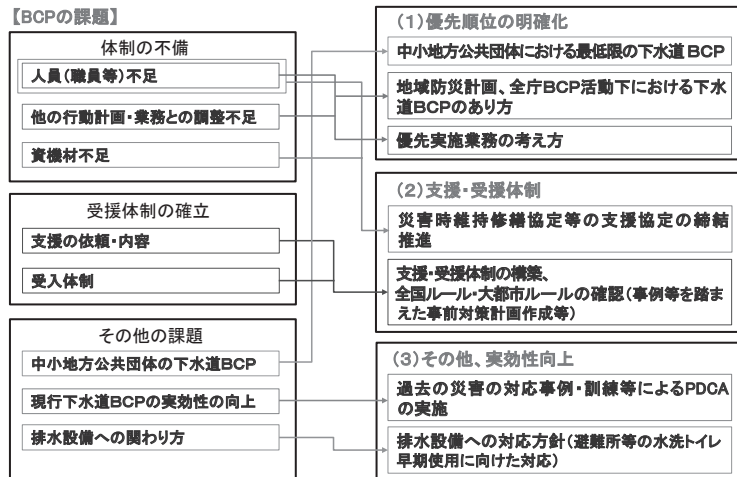


図-2 改訂の方向性

### 【特徴等】

本研究で作成した下水道BCP策定マニュアル改訂案を基に、平成29年度下水道BCP策定マニュアル改訂検討委員会において議論され、平成29年9月に「下水道BCP策定マニュアル2017年版(地震・津波編)」が国土交通省より公表された。また、国土交通省から地方公共団体へ、下水道BCPの見直しに早急に取り組むよう通知されており、日本下水道新技術機構としては、地方公共団体の下水道BCPの改訂(ブラッシュアップ)を継続的にサポートしていきたいと考えている。

※ 国土交通省水管理・国土保全局下水道部の政策支援

問い合わせ先：研究第一部 内田 勉，内田 聡，山口 真人【03-5228-6597】

キーワード

熊本地震，下水道BCP，下水道BCP策定マニュアル